

意思決定支援について、管理者の立場から・・・。



宝塚さざんか福祉会の研修計画をもとに～

- 社会福祉とは...
- 障害福祉とは...
- なぜこの仕事をしていますか...
- 何のプロですか...

意思決定支援を実践にある違和感から理解する

ご本人(対象者)の生活のごく一部をご一緒している私たち(支援者)が、その個人の価値観を優先して指導や助言をすることに違和感。

本人がどう生きたいのか、どんなことがおもしろい人生なのかは、本人が知っている事であり、本人が決めることである。

コミュニケーションに課題があるからと、本人の意思を勝手に判断することは不適切である。

☆ 支援のコツはソーシャルワークの理論にあり！



宝塚さざんか福祉会の法人全体研修では・・・。

テーマ：障害者福祉の援助観
～従事者は皆、ソーシャルワーカー～

ソーシャルワークの2大視点



エコロジカル視点



ストレングス視点

エコロジカル視点

そもそも障害とは、その当事者個人の力の弱さや能力の低さを理由に障害を定義するのではなく、環境における生きにくさから生じるものと理解し、決して個人の能力の責任ではないということを前提にしておく必要がある。

ストレスが社会の摩擦から生じるものであることと同じように、環境に応じた生き方をしなければならない社会自体に問題がある事を抑えておこう。

人と環境の相互作用(エコロジカル)を考えた支援実践。

ストレングス視点

障害福祉従事者として活躍するために身に着けておくべきこととは、自身の価値を対象者に教えるのではなく、共に考え、

共に悩み、対象者自身が**意思決定**できるように支える人としての役割を理解することにある。

ストレングス
＝コーチング理論



引用: 株式会社「宙」

- 社会福祉とは...

⇒ 全ての人の**幸せ**であり、全ての人が、**よりよい生活**を目指すもの。

- 障害福祉とは...

⇒ 社会福祉事業の中でも**障害**のある人たちに対する**福祉実践**。

- なぜこの仕事をしていますか...

⇒ 障害のある人たちの**おもしろい生活**実現の一役を担うため。

- 何のプロですか...

⇒ 現代社会の中に生活することで、あらゆる意思決定について決められることの多い**障害のある人たちの味方**であること。そして、その意思決定は簡単に表すことができないことを理解し、**勝手に判断しない**専門職。



常に「味方」

家族

・対象者の様子を見て、初めてその事実を知る。

「寄り添う」=「味方」とは

- ①自分を支持・応援してくれる人。
- ②相手を支持したり、応援したりすること。

(調)国語辞典



仕事中「味方」

従事者(専門職)

・対象者を、理論と実践どちらの理解もできている。



時々「味方」

地域の人

・街には、対象者が存在していることを、漠然とだが知っている。

対象者たちの生活
実態を知る私たちは
、その対象者たちの
理解ある“人”「味方」
となる。